

# 生産コスト低減に向けた具体的な取組

➤ 担い手への農地集積・集約を加速するとともに大規模経営に適合した省力栽培技術・品種の開発・導入を進め、産業界の努力も反映して農機具費等の生産資材費の低減を推進。

## 省力栽培技術の導入

### 直播栽培

育苗・田植えを省略。  
直播栽培に適した水管理と雑草管理ができれば、労力削減とコスト低減につながる。  
コーティング無しの直播技術も発展。



鉄コーティング種子



無人ヘリやドローンの活用も可能

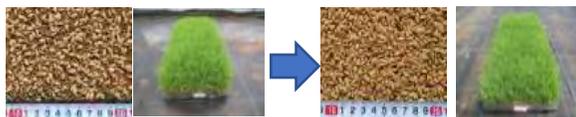
### スマート農業技術の活用

(例)  
営農管理システムの導入  
→作業のムダを見つけて手順を改善。  
水管理システム  
→水管理の見回りを削減。  
ドローンの活用  
→農薬・肥料散布の労力軽減。



### 高密度播種育苗栽培

育苗箱数・床土使用量を減らせるため、資材費の低減が可能。  
田植機への苗供給も少なく省力的。



### 肥料の節約

- 育苗箱全量施肥：緩効性肥料を育苗箱に施用することで、追肥を省略でき、肥料減・省力化を図る。
- 流し込み施肥：肥料を水口から流し込むことで、追肥作業を省力化。

## 大規模経営に適合した品種

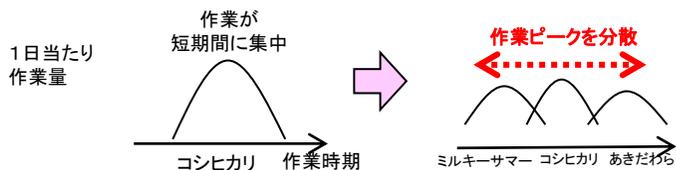
### 多収品種

多収品種による増収で、60kg当たりのコストを低減。

- (品種例)
- ・つきあかり
  - ・にじのきらめき

### 作期の異なる品種の組み合わせ

作期を分散することで、同じ人数で作付を拡大でき、機械稼働率も向上



## 担い手への農地集積・集約等

- 2023年までに全農地面積の8割を担い手に集積
  - ・分散錯圃の解消
  - ・農地の大区画化、汎用化

## 生産資材費の低減

### 農業機械の低価格化

- ・全農では、農業者のニーズを踏まえて機能を絞り込んだ仕様を決定し、最も高い要求を満たした農機メーカーから農機を共同購入。
- ・基本性能を絞った海外向けモデルの国内展開



### 肥料コストの低減

- ・土壌診断に基づく施肥量の適正化（肥料の自家配合等）、精密可変施肥
- ・化学肥料から鶏糞等への転換
- ・共同購入、大口購入による価格交渉
- ・フレキシブルコンテナの利用（機械化による省力化等）



### 合理的な農薬使用

- ・発生予察による効果的かつ効率的防除
- ・輪作体系や抵抗性品種の導入等の多様な手法を組み合わせた防除（IPM）  
⇒ 化学農薬使用量抑制

### 未利用資源の活用

- ・鶏糞焼却灰等の利用



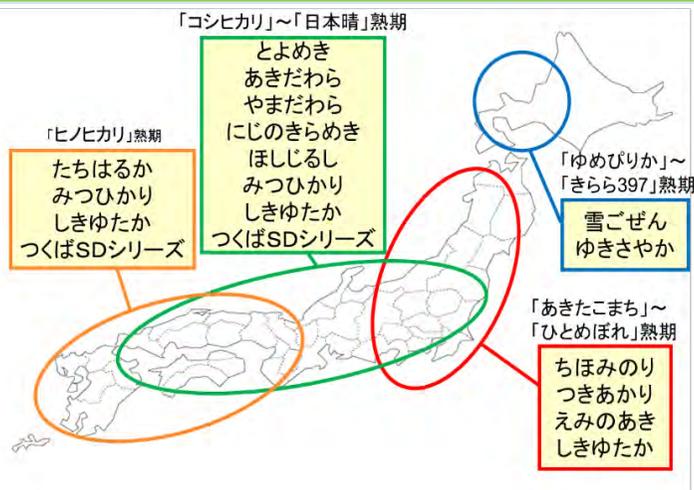
○ 生産コスト削減に活用可能な技術をまとめた「担い手農家の経営革新に資する稲作技術カタログ」を作成し、公開しています。

[http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/info/inasaku\\_catalog.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/info/inasaku_catalog.html)（「稲作技術カタログ」で検索！）

# 水稻の多収品種

- 輸出用米、中食・外食用の需要が増加する中で、需要に応じた生産を推進するためには、高単収な多収品種を導入し、農家所得を確保することが重要。

## 良食味の多収品種の栽培適地



## 農研機構が開発した多収品種の例

### 北海道向け「雪ごぜん」

- ・やや高アミロース・低タンパクの業務用多収米品種。
- ・耐冷性に優れ、冷害年でも収量が安定する。

検査数量: 1,097トン(令和3年産)、主な産地: 北海道

### 東北中南部以南向け「つきあかり」

- ・早生で多収の極良食味品種。
- ・ご飯はツヤがあり、うま味に優れ、4時間保温しても美味しさが持続。

検査数量: 24,740トン(令和3年産)、主な産地: 新潟、宮城、石川

### 関東・北陸以南向け「あきたわら」

- ・「コシヒカリ」より多収で、「コシヒカリ」に近い良食味品種。
- ・生育が「コシヒカリ」より遅く、作期分散が可能。

検査数量: 10,488トン(令和3年産)、主な産地: 新潟、富山、兵庫

### 関東・北陸以南向け「にじのきらめき」

- ・大粒で業務用に適する多収の極良食味品種。
- ・高温耐性に優れ、縞葉枯病に抵抗性。

検査数量: 9,126トン(令和3年産)、主な産地: 茨城、新潟、岐阜

### 西日本・九州向け「たちはるか」

- ・耐倒伏性・耐病性を備えた低コスト直播栽培向き多収品種。
- ・いもち病、縞葉枯病にも強い。

検査数量: 913トン(令和3年産)、主な産地: 熊本、大分、兵庫

## 民間企業が開発した多収品種の例

### 「みつひかり」

三井化学アグロ(株)

- ・一般品種との作期分散に有効な良食味品種。関東以西に対応。
- ・収穫が遅れても品質劣化が少なく、「刈り遅れ」の心配が少ない。

検査数量: 2,836トン(令和3年産)、主な産地: 岐阜、三重、新潟

### 「しきゆたか(ハイブリッドとうごうシリーズ(3号、4号))」

豊田通商(株)

- ・多収性に優れる耐倒伏性の良食味品種。
- ・うるち、半モチの2種類があり、4系統で北海道を除く各地に対応。

検査数量: 3,254トン(令和3年産)、主な産地: 秋田、茨城、滋賀

### 農研機構開発品種の利用許諾や種苗入手先に関する問合せ

(国研)農研機構 知的財産部 知的財産課 種苗チーム

Tel 029-838-7390・7246 / Fax 029-838-8905

<http://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/list/index.html>

出典: 令和3年産米の農産物検査結果(確定値)(農林水産省HP)